

「会話のキャッチボール」

子どもたちがボール遊びをしているのを眺めていると、小さい子はボールをキャッチするのが難しいようで、上手く受け取るのができません。しかし、大きい子たちが「こうしたらいいよ」などと声をかけあい、なんとかキャッチボールが出来ていました。強すぎても弱すぎても相手には届かないし、違う方向に飛んでしまうと、相手はボールを取りに行かなければいけません。私は相手によって投げ方を工夫するその様子をみていて、「会話のキャッチボール」のことを思い出しました。

会話は相手がいないと成り立ちません。お互いのボール（こ

tomoniki

とば）を相手に向かって投げ、相手の投げたボールを受けるといふ行為で成り立ちます。強すぎる言葉ばかり投げていては、受け止めることはできず、相手の心は折れてしまいます。それに気づかず、投げっぱなしのボールはいつの間にか、コミュニケーション不足となり、大事な報告や連絡、そして相談することも出来ない状態になってしまいます。

相手に思いが伝わらない、自由にものが言えなくなる、些細なことで行き違いになるなど、思い当たることがあるとしたら、今一度、自分のことばを見直してみても良いでしょう。

子どもたちがキャッチボールを楽しんでいるように、私たちも相手の気持ちを考え、より良い会話を身につけたいものです。

社会教育指導員 野中久美子

市交際費の支出状況



令和2年9月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	3	15,000
	累計	46	139,500
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	0	0
	累計	0	0
賛助	今月分	0	0
	累計	0	0
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	2	21,140
	累計	8	92,738
会費	今月分	0	0
	累計	1	3,000
その他	今月分	0	0
	累計	0	0
合計	今月分	5	36,140
	累計	55	235,238

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

市長コラム

Message for citizen



市長コラム



新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しそうにない状況です。国内はやや落ち着きの空気も見えますが、世界では感染者は4千万人超。欧州で第二波か第三波のような情勢です。感染予防徹底が不可欠です。くれぐれもよろしくお願いします。

折しも季節は寒風寒冷のシーズンに向かいます。例年の季節行事のように、これからは風邪やインフルエンザの流行シーズンでもあり、要注意です。

特に注意すべきは高齢者や子どもたち。そのためインフルエンザ予防接種が推奨されています。既に10月初旬から高齢者の接種が促進され、10月下旬から子どもたちへの接種奨励です。市から1人2千円の助成をします(市報今月号19ページ記載の情報を参照)。お子様たちのよい健康保持のために接種を受けることができます。これも安全安心の一步です。

インフルエンザ予防接種と交通安全

市長 横尾俊彦

10月20日記

安全安心といえは交通安全も重要です。今年の県内の交通事故死者数は前年比5人増で、県警も啓発に力を注がれています。佐賀県民の交通マナーは大いに改善が必要です。いわゆる「よからうもん運転」は絶対にやめなければなりません。「このくらいならいいだろう」「よからう」など、自分勝手の自己都合では安全確保は困難です。

子どもたちにも誇れる、お手本となるような車の運転や交通マナーがとても大切です。交通事故ではケガ人や犠牲者も発生しますし、心にキズも残ります。将来への不安も募ることになります。ほんの一瞬の不注意や運転ミスが不幸を招いてしまうのです。日暮れも速い秋の夕方には注意が不可欠です。

ヘルシー食事と適度な運動で健康や免疫力を保ち、感染症に注意して交通安全も確保し、深まる秋を満喫したいものです。